

平成 29 年度第 3 回秩父市総合教育会議議事録

期 日	平成 29 年 11 月 13 日 (月曜日)
時間・場所	16 時～17 時・本庁舎 4 階第 3 委員会室
出席者	<p>久喜市長、新谷教育長、久保教育委員、新井教育委員、増田教育委員、浅見教育委員</p> <p>地域政策課長、地域政策課主査 2 名、教育委員会事務局長、教育委員会事務局次長 2 名、学校教育課長、保健給食課長、教育研究所長</p> <p>傍聴者 1 名</p>
会議内容	<p>○市長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回から新たな取り組みを取り入れたい。 ・これまでは毎回 2 つ～3 つの議題を示し、それぞれについて担当から報告し、各委員から意見を伺う形が主となっていた。 ・今回から、一つ目の議題については「前回までの議題に関する対応状況について」とし、過去の幾つかの議題について、その時点での進捗を報告する形としたい。 ・今回の議題の二番目は「今後の課題と取組について」とし、来年度に向かって取り組むべき課題について認識を共有し、今後の取組の方向性について意見交換をできればと考えている。積極的なご意見をいただきたい。 <p><傍聴人入場></p> <p>○議事</p> <p>(1) 前回までの議題に関する対応状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度第 1 回会議で取り上げた「放課後対策について」と、今年度第 2 回で取り上げた「就学前教育について」、その後の対応状況の報告をお願いします。(市長) ・放課後対策の充実に向け、今年度中に、ふれあい学校や学童保育を利用している 900 名を対象にアンケートを実施し、運営に関する検証を行う予定である。また、就学前教育については、来年 1 月 13 日に指導要領の改訂に伴う市内公立・私立すべての幼稚園・保育所・認定こども園を対象とした研修会を開催することとした。(教育委員会事務局) <p>→特に意見なし。</p> <p>(2) 今後の課題と取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 1-1～3 について教育委員会事務局から説明。

- ・英語教育について、中学3年生全員の英検3級合格を目標ということだが、目標がある事は良いことだと思う。検定料補助など、具体的な方策はあるのか。また、コーディネーターの増員などを考えているようであれば、具体的な数字を教えてください。(久保教育委員)

→英検の検定料について一律2,000円の補助を考えている。生徒によっては3級でなく、準2級や4級などを受ける場合もある。検定料は3級が3,400円、4級が2,100円である(いずれも準会場の場合)。コーディネーターは、現在は4名で3校ずつ担当しているが、6名に増員を考えている。増員により1人当たり2校となり、活動が充実する。(教育委員会事務局)
- ・学力向上について、市の取組成果が出始めていると感じている。小・中学校授業改善リーフレット「チチブチャレンジ」は良くまとまっているので、有効に活用し続けてほしい。英語は小学校からの取組が大事だと思う。電子教材の整備も重要だ。一つ質問として、中学3年の英検3級については、どこで勉強するのか。また、誰が教えてくれるのか。(新井教育委員)

→学校の授業は、直接英検合格の対策となるような形では実施していない。中学校で3年間学ぶと英検3級を合格する程度の力がつく学習内容になっているが、実際はそこまで力がついている生徒は多くはない。(教育委員会事務局)
- ・全員が受かるまでやるのか。(新井教育委員)

→検定料が掛かることもあり、現在は任意で受けてもらっている。秩父市の中学生は、他地域よりも受検率が低いのが現状。補助制度により、受ける生徒が増えれば良いと考えている。勉強方法としては、市販の試験対策テキストや塾での学習に加え、市でも英検道場を開催するなどしている。(教育委員会事務局)
- ・国としても、英語力向上に力を入れてきている。小・中・高を通しての英語教育が重要。センター試験の見直しの中でも、民間試験をとり入れて英語力をつけていくという方向性が出ている。市が検定料を全額負担して英検を全員取得させるというのは、予算的なことが調整できれば、市として不可能ではない。(教育長)

→全額補助しているところはあるのか。(市長)

→市レベルだと少ないが、戸田市は全員を対象に実施している。(教育長)
- ・各委員の意見も伺いたい。(市長)
- ・子どもたちに聞くと、ただでさえ試験が多いと感じているようだ。そして英語が嫌いという子が多い。英語学習を楽しんでもらえるような取組が大事だと思う。(浅見教育委員)

- ・学力向上は頑張っていると思う。財政力指数や指導主事の数などを考慮すると他市に比べ高い結果を出している。秩父はアカデミックな土地だと感じている。引き続き努力いただければと思う。施設の老朽化対策について、今後、どうやっても生徒・児童数は増えないのではないかと。地域の了解をいただくのが前提ではあるが、限られた予算の中で、痛みを伴う改革が必要になっていくのではと思う。英語教育については、英検3級の取得の前に、英語に対するアレルギー感を取るのが必要なのかなと、浅見委員の話を聞いて感じた。(増田教育委員)
- ・英語が嫌いというのは大変なこと。ICTと同様、英語も好き嫌いに関係なく必要な素養になってくる。国も英語教育改革に賭けていると思う。今の小学校の英語の授業は楽しいが、中学校の英語はあまり楽しくないものになっているという現状を変えていくことが必要である。英検については地域間格差が出てきている。ICTも同様に、校務支援システムについては、10数年前から取り組んでいるところもある。(教育長)
- ・新谷教育長を迎える際に学力向上をお願いしたが、達成出来てきており素晴らしいと思う。評価するし誇れることである。秩父はアカデミックな土地ということに同感である。織物産業が栄えていた頃から、外に目を向けていた。秩父はポテンシャルが高い地域だ。近年の取組が結果に出てきているのではないかと。ICTについては、金が掛かるがいずれは必要になる。英語教育も含め、進めていくべきである。これまで市庁舎などハード面の支出が多かったが、今後は教育、医療など、ソフト面に力を入れていこうと思っている。一つ気になる点として、SNSがある。大きなテーマだと考えている。次回の総合教育会議について、SNSの課題について議論することを提案したい。英検については、補助をしても興味を持つ子は受けるが、そんなに大きく増えないのではないかと考えている。いかに英語に興味を持ってもらうか、何か良いアイデアがあるのではないかと、教育研究所の頑張りに期待したい。(市長)
- ・1980年代に青春を過ごした親世代は、英語が楽しかった世代だと思う。(浅見教育委員)
- ・アメリカンスクールの子どもをバスで連れてくるなどといった取組も考えられるのではないかと。(久保教育委員)
- ・もっと先進的な取り組みをしたい。「かっこいい」とか「凄いな」とか、そういう気持ちになってもらえるようにしたい。(市長)
- ・先日、アンバサダースクールという取組に出席した。秩父の良いところを英語でスピーチするというコンテストを予定している。(教育長)

- ・その第1回大会に出席した。長い時間を共に過ごすことにより、後半は皆がお互いに慣れて楽しそうだった。ALTが子どもたちと1日共に過ごせるような環境を調べられればと思う。(久保教育委員)
- ・現在実施している事業は、一部のやる気のある子が対象となっているのが実情。全体に広げていければと思う。(市長)
- ・英語嫌いをなくし、学ぶ意欲を育てたい。予算的には困難だが、実際のところ一番良いのは、外国に送り出すことである。(教育長)
- ・旧大滝村では以前やっていたと聞いている。(久保教育委員)
- ・英語教育については、検証をしっかりと行い、プラスアルファの広がりを持たせるような取り組みを実施していく。施設の老朽化対策については、事務局提案に沿った内容で進めていくこととしたい。また、次回のテーマとして、SNSを取り上げる方向で検討する。(市長)

<傍聴人退場>

○教育長 閉会あいさつ

○その他

- ・秩父一中の施設改善について

以上